

Nextra を利用して 驚異の短期開発を実現

市販ツール・言語との組み合わせで4ヵ月後に迫ったサービス開始時期に間に合わせる

国内某長距離通信会社

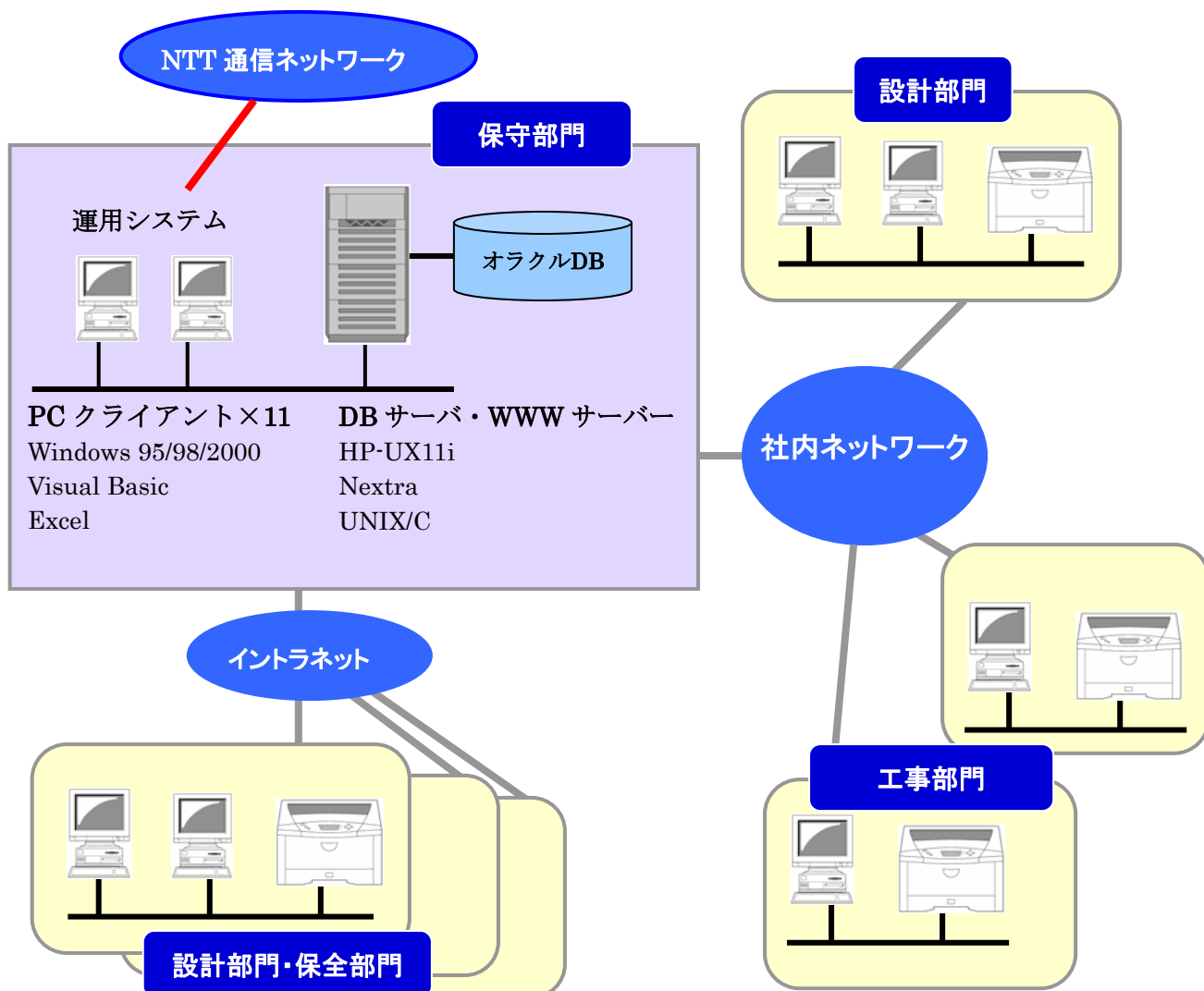
住所◆東京都渋谷区

業種◆通信事業

なぜ Nextra か？

低コスト・短期開発（基本検討書作成から4ヵ月後に1期、6ヵ月後に2期リリース）が必須条件であり、かつ開発メンバーのほとんどは分散システム開発の未経験者であった。Nextraは低価格の市販ツールや一般的なC言語が使用でき、使い方も容易でなじみやすいことから採用に至った。

システム構成図



ユーザーコメント

国内某長距離通信会社

正岡淳之氏

「Nextra は、3 層 C/S 方式の開発において使い方が容易でなじみやすいことが開発効率を高めていると思います。これにより従来の開発期間を大幅に短縮できたことは、私たちにとって驚異でした。」

システム概要

ネットワーク設計支援システム

通信ネットワークの回線申込～ネットワーク設計～回線開通、及びそれらの進捗管理。

これまでの営業・保全／設計／工事の各部門毎の独自システムによる弊害をなくし、業務処理全体の効率アップをはかるとともに、将来におけるシステムの柔軟性、拡張性を確保する。

導入経過

H.8 年 10 月～システム開発環境、ソフトウェアの評価

H.9 年 1 月：基本検討書作成

H.9 年 2 月：開発プロジェクト発足（開発開始）

H.9 年 5 月 23 日：1 期リリース

H.9 年 7 月 28 日：2 期リリース

H16 年 11 月：Nextra3.6 へバージョンアップ

導入効果

外部業者による見積り期間の約 1/3 で開発を完了。もちろん費用的にも内作により大幅に削減できた。さらに業務サイドから要求されていた EUC 環境の提供や、イントラネット化、将来の変化への対応などを拡張性も確保された。

今後の課題

2 重投資を回避し、業務のフロースルー化を推進させることに着手し、他システムへの適用も検討中。